



市報

200312/1 NO.1353

DECEMBER

Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS
主な内容

特集 子育て支援

障害者週間

みんなが暮らしやすいまちへ

2003年山口市の主な出来事



●発行/山口市 〒753-8650山口市亀山町2-1

●ホームページ/<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/>

●編集/企画財政部広報広聴課 ☎934-2753

●Eメール/koho@city.yamaguchi.yamaguchi.jp

●印刷/山口印刷工業株式会社

古紙配合率100%再生紙使用

みんなので支え合い、ともに考えてみませんか

子育て支援

なぜ子育て支援が必要なのでしょう。昔は大家族が一般的で家族の中で助け合い、地域ぐるみでの子育てが自然に行われていました。しかし、最近では、少子化や地域コミュニティの希薄化など、子育てをめぐる環境が変化の中で、さまざまな問題が起きています。子どもは、地域の宝です。将来を担う子どもが健やかに育つ社会の実現が必要です。

近年、子育てをめぐる環境の変化により、児童虐待の大幅な増加や思春期における問題行動の深刻化などさまざまな問題が起きています。また、核家族化など家族形態の変化により、子育てにかかる親の負担が大きくなっています。これに伴い、子育てやしつけに悩みや不安感を持つ親、子どもとの接し方が分からない親などが増えています。

それでは、子育てに関する悩みがある場合はどうしたらよいのでしょうか。まずは、実際に子育てに関する相談を受けている相談員の方に、相談の状況などについてお話を聞きました。

市家庭児童相談室
家庭児童相談員

江口初枝さん



江口さんは、児童虐待や養育上の悩みなど、広く子どもの福祉に関わることについての相談を受けておられます。

■悩みをためないのが一番です

最近では、経済的な問題や虐待の相談が多くなっています。また、単身赴任等で、母親が子育てについて、一人で解決しなければならぬ場合も出てきました。

悩みをためないのが一番だと思いますので、相談時には、なるべく

く話を聞くようにしています。

子どもは、それぞれに個性があり、親ができることは本当にわずか。そのことに早く気付くことが大切ではないかと思えます。自分の思い通りにならないからといって悩む必要はないと思います。

■声に出して相談すると解決できることもありますよ

電話での相談の場合は、顔が見えないので、身近な友達などに相談できないことも気軽にご相談ください。

子育てに関して、何かもやもやしたり、腹が立ったとき、何を相談していいか分からない人も、雑談になってもいいから話をしてほしいです。

頭で思い悩んでいるときは解決できないことも、声に出して相談すると解決できる場合もあるんですよ。



市教育相談室
教育相談員

河口 香代子さん



河口さんは、児童生徒の学校生活、家庭での養育問題等についての相談を受けておられます。

■**地域が一体となった子育て**を以前は不登校の問題が多かったのですが、今は、家庭内の問題（家庭不和、養育問題）などが多くなってきています。

昔は、近所で子どもについての気づきを言い合ってお互い支え合っていました。また、それぞれの場所（家庭内、近所、学校、職場）でも、愚痴の聞き役がいました。共に子どもを育てようという人が身近にいると良いと思います。家庭内、近所、学校、職場が一緒になって、子育てに目を向けていくことが大切だと思います。

■**ささいなことでも早めに相談**を核家族化の影響で一人で悩む方

が多いと思います。直接相談に来られる方も結構おられますが、まずは電話でもいいので、悩まずに相談してください。また、子育てに関心がない人は、問題が大きくなってから相談に来られるようになります。どんな小さなことでもいいから、どこでも、誰でもいいから早く相談してほしいと思います。

悩みは人それぞれ、気軽に相談してください

子育てについての悩みは、人それぞれです。いろんな悩みをみんな持っています。悩む前に気軽に相談してください。

相談室には、このような悩みが多く寄せられています。例えば、

- ◆ 夫が育児に協力しない
- ◆ 経済的な不安がある
- ◆ 子どもが言うことを聞かない
- ◆ 家族の人間関係がうまくいかない
- ◆ 期待していた子どものイメージと違った
- ◆ 子育てについて話せる相手がない
- ◆ 子どもを預けられる人がいないなど

**みんなで支え合う子育てを
目指し、市でも積極的に取
り組んでいます**

市においても、子どもが健やかに育つ社会の実現に向けて、次のような取り組みを行っています。

■**山口市次世代育成支援行動計画の策定**

この計画は、急速な少子化の進捗と地域を取り巻く環境の変化を踏まえて、子育て支援、親子の健康確保、教育環境の整備、子育て家庭に適した居住環境の確保、仕事と家庭の両立等の施策を計画的に進めることで、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ、育成される社会の実現を図るために策定するものです。



第1回山口市次世代育成支援行動計画策定委員会及び幹事会

平成15年度に子育てに関するアンケートを実施しニーズを把握した上で、16年度に計画を策定する予定です。また、計画の実施期間は、平成17年度から21年度までの5年間です。

■**市民まちづくり会議**

市民のみなさんが委員となつて、市民の目線からのまちづくりを一緒に考えていくための会議です。

今年度のテーマは「子育て支援」です。会議でまとまった提言書は、最終的に市長へ提出され、「山口市次世代育成支援行動計画」に反映されることになっています。

子どもが健やかに育つていける環境、家族が育てやすい環境にしていくことが大事です。子育ては、家庭や学校だけの問題ではありません。これからは、職場や地域も一緒になって、みんなで支え合い、助け合っていく必要があります。

※子育てに関する相談窓口、電話による相談サービスの情報は、次のページに掲載してあります。

子育てに関する相談窓口、電話による相談サービス

子どもや家庭に関する悩みをお気軽にご相談ください

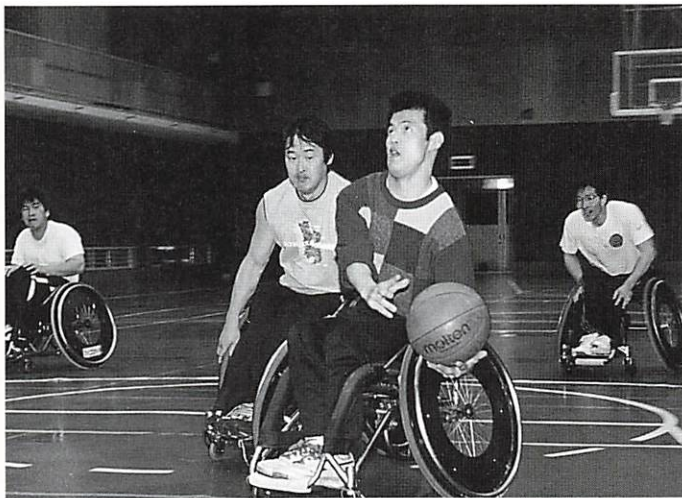
■相談窓口

名称	相談内容	受付時間	電話番号	備考
市家庭児童相談室 (市児童家庭課)	児童虐待、養育上の悩み、非行、しつけ、障害など、広く子どもの福祉に関わることについて	平日 9:00~16:00	934-2797	どこに相談したらよいか迷ったら、まずはこちらへ
市教育相談室 (市学校教育課)	児童・生徒の学校生活、家庭での養育問題等について	平日 8:30~17:00	922-3749	
市保健センター 市南保健センター	子どもの発育・発達、体の調子、子育てのしかたについて	平日 8:30~17:15	921-2666 083-972-9850	
地域子育て支援センター ・おおとり保育園 ・愛児園乳児保育所 ・嘉川保育園 ・さやま保育園 ・大内光輪保育園 ・湯田保育園 ・平川保育園	育児に関するいろいろなことについて (乳幼児対象)	平日 10:00~16:00 平日 9:00~16:00 火水金 9:00~11:00 開園日 14:00~17:00 平日 10:00~14:00 平日 10:00~16:00 平日 10:00~15:00	933-0660 922-7126 989-3518 989-3013 934-5570 922-6545 925-4997	子育てについて一緒に考えてくれる身近な存在
ほっとさろん西門前 てとと	育児に関するいろいろなことについて (乳幼児対象)	平日 10:00~15:00	921-0428	乳幼児を持つ母親の交流の場

■電話による相談サービス

名称	相談内容	受付時間	電話番号
おやこホットライン (中央児童相談所)	子育ての悩み、非行、児童虐待	平日8:30~20:00 土日祝祭日8:30~17:15 (年末年始を除く)	932-3939
すくすくテレフォン (県教育庁社会教育課)	乳幼児の育児不安や悩み	平日9:00~17:00 (時間外は留守番電話、FAX対応)	933-4888
ふれあいテレフォン ふれあいFAX いじめ相談専用電話 (県ふれあい教育センター)	学校教育、いじめ、不登校など	平日9:00~17:00 (時間外は留守番電話対応)	987-1240 987-1241 987-1258 987-1202
ヤングホットライン (県教育指導課)	学校教育、いじめ、不登校など	月・水曜日17:00~22:00 土曜日13:30~22:00 (時間外は留守番電話対応)	920-1777
妊娠・子育て何でもダイヤル (県健康増進課)	妊娠から子育てまで、心配ごと、悩みごと	24時間、年中無休 (テープ対応)	934-5544
こどもの応急手当なんでもダイヤル (県健康増進課)	乳幼児の事故防止と応急手当	24時間、年中無休 (テープ対応)	934-5588
いじめ110番 (県教育庁指導課)	子どものいじめについての相談	平日8:30~17:15	923-2264
ヤングテレフォン・やまぐち (県警察本部少年課)	子どもの非行、いじめ、虐待、犯罪等による被害など	平日8:30~17:15 (時間外は警察本部当直対応)	フリーダイヤル 0120-49-5150 携帯電話からは 925-5151
さわやか電話相談 (財)山口県教育会)	教育と生活の問題	平日8:30~17:00	928-8888
フレイフレイテレフォン (財)21世紀職業財団)	仕事と家庭の両立	平日9:30~16:30	923-2020

練習中の「山口スカイクラブ」のみなさん。
なかなか激しいスポーツです。



12月3日～9日は障害者週間です

みんなが暮らしやすいやさしいまちへ

「ノーマライゼーション」という言葉をご存じですか。これは、「障がいのある人もない人も、社会の一員としてお互いに尊重し支え合いながら、地域の中で共に生活する社会こそが当たり前の社会である」という考え方のことをいいます。障害者週間を機に、みんながお互いに尊重し合い、共に地域で暮らしていくにはどうしたらいいか、一緒に考えてみませんか。

山口市には、現在、約4700人の障がい者の方がいらつしゃいます。しかし、こんなに多くの方が同じまちで暮らしているにもかかわらず、障がい者の方と接する機会はそう多くはありません。

ノーマライゼーションを実現するためには、行政などが障がい者の方の生活を総合的に支援していくことはもちろんですが、もっと大切なのはわたしたち自身の「心のバリアフリー」だといわれています。

ます。それをなくすためには、何が必要なのでしょう。今回は、さまざまな分野で活躍されている障がい者の方にお会いして、心のバリアフリーについて考えてみたいと思います。

スポーツで身体も心もリフレッシュ 「山口スカイクラブ」 藤田英二さん

「山口スカイクラブ」は、結成25年目の車いすバスケットボールのチームです。メンバーは現在8人。毎週月・木曜日の夕方になると、練習会場の山口県身体障害者福祉センター体育館には、仕事を終えたメンバーが、続々と集まってきました。代表の藤田英二さんにお話を伺いました。

楽しむことが目的

「主な活動としては、定期練習、

県内外の大会へ出場するほか、一般のチームとの交流も行っています。このクラブは楽しむことを目的としていますので、初心者の方も大歓迎ですよ。」

車いすバスケットの魅力

「障がいのある人もない人も、車いすに乗れば、一緒にバスケットボールを楽しむことができます。また、健康づくりと気分転換ができることですね。大きな声を出

して体を動かすのは、とてもいい気持ちです。」

目標を持って前向きに

「障がい者となつてしばらくは、それを受け止め、ただで精いっぱい。でも、時がたち障がいを前向きに受け止めることができてきたら、何か目標を持つてほしいと思います。でも、目標を追いかけてばかりだと息切れしてしまうので、気分転換できるものが必要です。私の場合はそれがバスケットボール。気分をリフレッシュすると、また新たな気持ちで目標に向かえるんですよ。」



藤田英二さん

藤田さんの目標は？

「10月に『アス・ライフサポート』というNPOを立ち上げました。ここでは、障がい者をチャレンジド（試練を与えられ克服する人）と呼んでいます。同じチャレンジドの仲間として、スポーツに
←（次ページに続く）

チャレンジしたり、自立した生活を送ろうとするチャレンジの方々に応援したいと思います。」

障がいはその人の個性

「障がいは、その『障がい』のために、さまざまなハンディを背負っています。社会的な不利益を被ることもめずらしいことではありません。しかし、わたしたち障がい者は、自分たちでそんな社会を変えていこうとする気持ちを

持つべきだと思います。」

また、障がいのない人たちには、障がい者に対する正しい認識を持つてほしいですね。その人その人の障がいについて、正しく理解した上で初めて心のバリアがなくなり、人間同士のつきあいができるのではないのでしょうか。障がいの種別などで人を判断するのではなく、障がいをその人の持っている個性や人間性として、受け止めてほしいと思うのです。」

障がいがある人もない人も、さあ一緒に踊りましょう 「山口車いすダンスの会」大庭晴子さん

車いすダンスは、車いす使用者とスタンディングパートナー（立って踊る人）とがペアを組んで踊る社交ダンスです。「山口車いすダンスの会」は、結成して6年。現在の会員数は、障がい者の方3名を含む13名です。
代表の大庭晴子さんにお話を伺いました。

ダンスを通じて交流

「毎週月曜日の夜、社会福祉センターしらさぎ会館で練習しています。また、年に1回、どなたでも参加できる車いすダンスの講習会を開催したり、一般の社交ダン

スグループとの交流なども積極的に行っています。」

車いすダンスの魅力

「障がいのある人もない人も、ダンスを楽しみながら交流できることが何よりの魅力ですね。また、障がいに応じてダンスをアレンジできるので、誰にでも無理なく踊ることができま



大庭晴子さん

す。その他、リハビリの効果も認められていて、重度障がい者の症状が改善された例もあるんですよ。」



練習中の「山口車いすダンスの会」のみなさん

夢を持って毎日を楽しむ

「毎日を楽しく過ごすには、何にでも興味を抱き、『これをやりたい』という夢を持つことですね。私は、何か面白そうなことを見つけると、山口でそれを楽しむ方法はないかと考えるんですよ。夢を見つけたら、それをいろいろの人に話しましょう。そうすれば、今は情報があふれている時代ですから、必ず何か情報が入ってきます。それから、その夢をあきらめないこと。私も、車いすダンスを知ってから実際に習うまでには5、6年かかりました。また、自分の障がいをプラスに受け止めることができたことも、私にとってはよかったですと思います。」

障がいのある人とない人と の接点づくり

「心のバリアフリーを進めるためには、障がい者とそうでない人との接点が必要です。」

私は、『ヒューマンスペースからら銀魚』というNPO活動で、その接点づくりを企画しています。このダンスの会も接点の一つ。

『誰かに何かをしてあげる』ボランティアではなく、同じ目的を持った仲間同士と一緒に活動する中で、自然にお互いの理解が深まればいいのではないかと思うのです。」



車いすバスケットボールや車いすダンスのほかにも、障がいのある方とない方が一緒に楽しむことができるスポーツはたくさんあります（次ページ「障害者スポーツ団体」表参照）。

興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

◇ 障害者スポーツ団体に関する

申し込み・問い合わせ 山口

県障害者スポーツ協会（大手

町9-6 山口県社会福祉会館

2階 ☎ 901-4065

Eメール

s-spokyo35@crux.ocn.ne.jp

温かい励ましと快適な生活のアドバイス ピアカウンセラー 藤本トモエさん

障がいを持った方の中には、自分と同じ障がい者のために何か力になりたい、と思っっている方がいらっしゃると思います。やまぐち障害者生活支援センターのピアカウンセラーとして活躍されている藤本トモエさんもお一人です。

ピアカウンセラーとは

「障がい者には、家族にも誰にも言えない心に秘めた悩みがあるものです。そんなとき、同じ障がいを持つ仲間になら、相談しやすいのではないのでしょうか。ピアカウンセラーの『ピア』は仲間という意味なのです。

私は25年前に※ストーマをつけました。当時は、今のようによく補装具がなく、悩みを語り合う仲間もいませんでした。

でも、後に続く人には私のような苦勞をせず、元気で明るい人生を歩んでほしいと思い、相談員になったのです。」



藤本トモエさん

一人で悩まず相談を

「相談される方のほとんどは、私と同じ※オストメイトの方です。皆、ストーマをつけて間もない頃は落ち込みますので、先にストーマをつけた仲間として、その人のそばにいて悩みを受け止めてあげられたらと思います。少し元気が出たら『大丈夫よ。一緒にがんばりましょう』と励まします。また、快適な生活を送るためのアドバイスもしているんですよ。何か悩みがあったら、一人で落ち込まないで何でも相談してください。」

できることをできる範囲で

「障がい者の方も、自分ができる範囲で社会参加をされたいかがでしょうか。地域の行事などに参加したら、地域の方とも顔見知りになれますよね。そのときは、地域の方も障がい者を自然に受け入れてほしいですね。

また、人と比べるのではなく、自分だけの『物差し』を持ちましょう。自分のできることをできる範囲でやってみることが大切です。がんばりすぎず、一緒に歩いていきましょうね。」

やまぐち障害者生活支援センターでは、肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい、内部障がいのピアカウンセラーが相談をお受けします。相談は予約制ですので、ご希望の方は、センターまでご連絡ください。

山口市においても、身体障害者相談員と知的障害者相談員を設置しています。詳しくは、市高齢障害課までお問い合わせください。

◇問い合わせ やまぐち障害者生活支援センター（緑町2-11 ☎924-7035）、市高齢障害課（☎934-2794）

心のバリアをなくし、心の通い合う温かなまちへ

今回、取材したみなさんは、ご自分の障がいをプラスに受け止めて、目標に向かって力強く歩んでおられる、その姿がとても印象的でした。相手を自然に受け入れ、正しく理解する…それが心のバリアフリーにつながると感じました。

市においても、平成15年2月に第二次山口市障害者福祉計画を策定し、「みんなが助け合い支え合う地域づくり」を目指して、さまざまな施策に取り組んでいるところです。この中で、障がい者の方が豊かに安心して暮らせるまちづくりのために、心のバリアフリー

障害者スポーツ団体

団体名	種目
Blue Fox山口E.S.C	電動車いすサッカー
Forza山口E.S.C	電動車いすサッカー
県障害者卓球協会	卓球
県車椅子陸上競技連盟	陸上
県車いすダンスの会	車いすダンス
県障害者ソフトボール協会	ソフトボール
県車椅子バスケットボール連盟	バスケットボール
県身体障害者アーチェリー協会	アーチェリー
県障害者野球チーム	軟式野球
県障害者射撃クラブ	射撃
日本人盲人マラソン協会山口県支部	陸上
山口ろうあ連盟サッカー部	サッカー
33会ゴルフクラブ	ゴルフ

についても推進しています。

市では、障がい者のための施策は、「特別な」市民の「特別な」施策ではなく、市民のみなさんが快適な生活を送るために必要な「市民共通の施策」と考えています。

心のバリアフリーも同じです。障がいのあるなしに関わらず、わたしたちの地域が、誰にとっても住みやすく、心の通い合う温かいまちになるよう、市民のみなさんや関係団体とともに、努力していきたいと考えています。

◇問い合わせ 市高齢障害課（☎934-2794）

※ストーマ：腹部に造設した便や尿の排泄口のこと
※オストメイト：大腸がんやぼうこうがんなどの手術を受けて人工肛門や人工ぼうこうを持った人のこと



山口県央部 合併協議会協議報告

合併協議会は、はや10回目を迎えました。委員のみなさんの活発なご意見等により、慎重かつ具体的な審議がなされています。また、19日に行われた新市の名称候補選定小委員会では、次回以降の小委員会で名称候補を5点に絞り、協議会へ提案することが確認されました。

■第10回山口県央部合併協議会（11月13日）

継続協議事項のうち、都市計画事業と建設事業については、原案のとおり確認されました（下表）。国民健康保険事業、児童福祉事業については、より慎重な協議を要するため、再度継続協議とされました。

なお、今回予定されていた協議事項（財産及び公の施設、消防防災事業、下水道事業、水道事業の各取扱い）は、次回に持ち越されることになりました。

◇次回の協議 11月27日（木）午後2時から
小郡町公民館

◇次回の協議内容 国民健康保険事業、児童福祉事業、財産及び公の施設、消防防災事業、下水道事業、水道事業、その他事業の各取扱いについて

■第10回県央部合併協議会で確認された主な協定項目と内容

●都市計画事業

- ・都市計画区域・区域区分・用途地域…当面現行通りとするが、新市移行後、速やかに新市の基本構想を踏まえた都市計画マスタープランを策定し、早期に新市の都市計画審議会の意向を踏まえ、市街化区域・市街化調整区域の設定に努める。
- ・都市計画法…課税客体及び税率については、新市発足後の都市計画（区域、区域区分（線引き）等）の見直し、検討）や都市計画事業の状況に基づいて速やかに調整するものとし、当面従来通りとする。

●建設事業

- ・市町道認定基準…幅員以外の基準については、概ね山口市の例により調整する（幅員は防府市・徳地町の例により、4メートルとする）。
- ・道路改良事業…山口市の例により調整する（ただし、他の法令等に基づくものはその定めによる）。また、防府市が実施している市道認定を前提とした補助金による制度も、全市域を対象に制度化する。
- ・認定外道路整備事業…新たに制度等を創設する。

■第3回新市建設計画検討小委員会（11月10日）

新市まちづくり計画（素案）について事務局より説明があり、新市の施策等が審議されました。委員からは「新市将来都市像の『多彩な夢とともに創る世界に伸びゆく新県都』に沿った建設計画となるよう、2市4町のバランスを見ながら一層の事業の精査を」などの意見が出されました。また、事業所税（下記参照）について事務局から概要説明がありました。

◇次回の協議 12月3日（水）午後6時から小郡町役場

■第5回新市の名称候補選定小委員会（11月19日）

前回の小委員会で「名称候補選定基準を考慮の上、公募作品等も参考にしながら、名称としてふさわしいと思われる5作品以内を選考する」としたことを踏まえ、18名の委員それぞれが選考し、提出した延べ37作品・13種類の名称候補が報告されました（左表）。

■第一次名称候補の選考結果（50音順）

新市の名称候補	名称のふりがな	選定委員数 (延べ人数)
吉 佐 市	きささし	2
西 京 市	さいきょうし	3
佐波権野川市	さばふしのがわし	1
新 山 口 市	しんやまぐちし	5
周 央 市	すおうし しゅうおうし	2
周 防 市	すおうし	2
周防吉佐市	すおうきささし	1
周防山口市	すおうやまぐちし	1
大 防 府 市	だいほうふし	1
中 央 市	ちゅうおうし	1
防 府 市	ほうふし	1
やまぐち市	やまぐちし	3
山 口 市	やまぐちし	14

名称候補選定の理由は「それぞれの地域の歴史・文化等に配慮し、全く新しい名前を望む」、「知名度が高く、経費削減の観点からも既存の市の名称を残して欲しい」など、さまざまでした。また、今回の小委員会で、協議会へ提案する名称候補を5点とすることが決定され、具体的な名称候補の絞り込みは、次回非公開で話し合われることとなりました。

■2市4町の事業所税試算

	資産割		従業者割		計	
	事業所数	推計額 (1)	事業所数	推計額 (2)	事業所数	(1) + (2)
山口市	346	796,000	40	53,000	351	849,000
防府市	274	1,243,000	36	102,000	274	1,345,000
小郡町	68	110,000	1	1,000	69	111,000
秋穂町	10	15,000	1	1,000	10	16,000
徳地町	9	15,000	0	0	9	15,000
阿知須町	16	45,000	2	3,000	16	48,000
計	723	2,224,000	80	160,000	729*	2,384,000

※事業所数の合計は実数（資産・従業者割の重複を除いた数字）

人口30万人以上の都市などが、都市環境の整備や改善に関する事業の費用に充てるため、事業所等に課す市税のことです。なお、床面積が1000平方メートル以下または従業員100人以下の事業者、公共性の高い施設の事業者等は課税されません。また、合併特例法によって、合併した日から5年間は課税されません。

納税義務者（事業者）には、資産割では床面積が1平方メートルにつき600円、従業者割では給与総額の100分の0・25が課税されます。

この税は使い方が特定されている目的税で、道路や公園、下水道等の整備を一層進めるために使われます。

事業所税とは？

2003

山口市の 主な出来事

1月

「山口県央部合併推進協議会」設置
(6日) ▼「大内文化まちづくり推
進計画」を策定

2月

第8回中原中也賞が神奈川県在住
の中村恵さんの「火よ!」に決定
(22日)

3月

「山口県央部合併協議会」を設置・
初会合(8日) ▼リサイクルプラ
ザ「おもちゃの病院」治療100
0件達成(9日) ▼「山口情報芸



「山口県央部合併協議会」を設置・
初会合(3月8日)

4月

術センター市民委員会」初会合
(13日) ▼宮野中学校屋内運動場竣
工記念式典(18日) ▼きらめき21
(山口市男女共同参画ネットワーク
)設立総会(18日) ▼窓口受付
業務の時間延長を実施(24日) 4
月11日) ▼「やまぐち情報文化都
市基本計画」を改定

5月

支援費制度開始(1日) ▼市役所
内の分煙スタート(1日) ▼「菜
香亭」の実績を後世へ伝えるため
元主人齊藤清子さんが市へ再建築
費用・建築部材などを寄贈(4日)
▼山口情報芸術センター竣工式
(16日) ▼「ほっとさろん中市まち
のえき」オープン(20日) ▼市議
会議員選挙(21日) ▼市役所1階
にオストメイト対応トイレ完成



子育てほっとさろん「てとてと」
オープン(7月12日)

6月

研究委員会」開催(13日)
山口ふるさと伝承総合センターに
新館「みやび館」オープン(1日)
▼山口市立図書館移動図書館「ぶ
つくん」運行開始(25日) ▼借上
型市営住宅東山第2市営アパート
新築工事起工式(27日)

7月

岩谷産業(株)が山口テクノ第2
団地に進出(3日) ▼吉敷公民
館・出張所落成式(11日) ▼子育
てほっとさろん「てとてと」オー
プン(12日) ▼地域情報交流セン
ター「ぼそら」入館者10万人達成
(25日) ▼第1回山口市行政改革推
進委員会(30日)

8月

産業コーディネーターを設置(1
日) ▼韓国・公州市姉妹都市締
結10周年記念訪問団の来山(5



韓国・公州市姉妹都市締結10周年記念
市民参加訪問団訪韓(10月9~12日)

9月

湯の町通りに3カ所目の足湯完
成(24日)
稼働(25日)

10月

小郡駅が新山口駅へ駅名変更
(1日) ▼新幹線「のぞみ」新山
口駅停車(1日) ▼韓国・公州
市姉妹都市締結10周年記念百済
文化祭市民参加訪問団訪韓(9
月11日) ▼まちづくりリレーミ
ーティング/対話(18日) 11月
28日)

11月

山口情報芸術センターオープン
(1日)



山口情報芸術センターオープン
(11月1日)

第3回山口市交通まちづくり
調査研究委員会（10月28日）

今回の会議では、前回の利用者アンケートに引き続き、コミュニティバス運行に対する市民の幅広い意見を伺うために行われた市民アンケートの調査結果が報告されました。運行に対しては、概ね肯定的に評価する意見が多くありましたが、運行の拡充を望む声など地域間の不公平を指摘する意見も聞かれました。これらをもとに、コミュニティバス運行に関する評価や課題について次のことについて協議が行われました。

- ・不公平感の改善などの問題をふまえ、効率性や採算性を考慮しながらルートの拡張や運賃の変更について検討する。
 - ・行政負担、受益者負担のあり方や、コスト削減などの見直しについても検討する。
 - ・未運行地域において、他の公共交通を補完するコミュニティタクシー導入について調査研究する
 - ・また、福祉優待バス乗車証制度については、対象者アンケートの結果を参考にしながら、他の路線バス事業者への拡充や一部有料化等の方法についても検討することなどが協議されました。
- ◆次回の委員会 12月24日（水）
午後2時～5時／市役所3階第10・11会議室

男女共同参画社会の実現に向け、「きらめき21」活動中

11月1日、きらめき21（山口市男女共同参画ネットワーク）主催の講演会が県婦人教育文化会館で行われました。

当日は、講演会のほか、パネルディスカッションが行われました。その中で、「まずは身近な家庭の中で、育児や介護に男性も主体的に関わっていく意識が大切」、「少子高齢化で

就業人口が減少し、50年後には人口の6割を女性が占めると推測されることから、女性の社会的役割はますます重要になる。このことを男性も女性も意識しなければならぬ」など、さまざまな意見が出されました。きらめき21では、今後、市民参加のワークショップを開催する予定です。市でも、これらの活動を通して、男女共同参画社会の実現に向けた市民の積極的な活動の輪を広げていきたいと思えます。

市民委員会自主企画事業
メディアリテラシー講座
～社会を学ぶ・メディアに学ぶ～

山口情報芸術センター市民委員会の自主企画「メディアリテラシー講座」が、山口情報芸術センター（スタジオC）で行われました。

市民委員会は、市民の視点からセンターで行う事業を企画するために設置されており、今回が委員会企画による最初の事業となります。

第1回目は「情報センターとしての図書館の可能性」をテーマに行われ、講師の菅谷明子さん（経済産業研究所「RIETI」研究員）は次のように話されました。

「多くの人は、図書館のイメージを聞かれると、『本がある空間』というだけで、それ自体に可能性や期待を感じる方は少ないと思います。これからの図書館は、単に『図書の館』ではなく、『情報の館』、『コミュニケーションの館』として独自の機能を持つことが大切です。

これまでのように、受動的に情報を消費するだけでなく、創造し、発信する場ではなくてはならないと思えます。

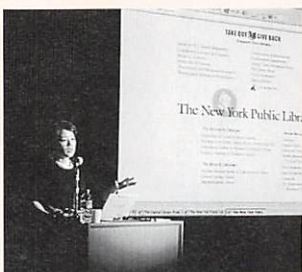
また、図書館のもう一つの役割は、『つなぐ』こと。図書館という「空間」、「人」、「情報」、それぞれを有機的につなぐことで、新たな意味が生まれてくると思います。

世界の先進的な事例や大都市圏と比べても、サービス分野というのはさほど大きな違いはないと思います。地域の図書館だからできる利点を活かして、山口の地域情報を活かした主体的なサービスを心がけることが大切です。また、利用する地域の人たちにも積極的に関わっていただき、よりよい市立図書館を市民の皆さんと共に目指していただきたいと思えます。」

■今後の開催日程（詳しくはお問い合わせください）

「デジタル社会のリテラシー」（講演）平成16年1月31日（土）／「絵本づくりワークショップ」平成16年1月31日（土）、2月1日（日）／「お母さんの、お母さんによる、市民のための豊かさ実感ITフェスタ」（ワークショップ）平成16年3月6日（土）、13日（土）

■問い合わせ 市民委員会事務局
（☎9011-2222）



ニューヨークの公立図書館を先進事例紹介する菅谷氏

人として 生きる喜び たいせつに

12月4日～10日は人権週間

私たちが生活する上で、誰もが平等に持つ権利である基本的人権。みなさんは普段どのくらい意識していますか。

市では、市民のみなさんの自主的な人権学習を積極的に支援するため、出前講座を開催しています。また、人権擁護委員が人権に関する相談に無料で応じていますので、みなさんお気軽にご相談ください。

●山口市の人権出前講座

地域・職場・サークル等で行う、みなさんの自主的な人権学習を支援します。(女性・高齢者・子ども・障がい者・同和問題・外国人等さまざまな人権に関することをテーマとします)

- ・地域・職場・サークル等で行う人権学習会へ講師を派遣します。(講師料は市が負担します)
- ・10人前後の少人数の学習会でも利用できます。
- ・グループ内で講師を決定したい場合も、市で講師料を負担できる場合があります。

■問い合わせ 市人権推進室 (☎934-2867)

●人KENまもる君・人KENあゆみちゃんの人権出前講座(小学生対象)

人権に対する正しい認識は、小さい頃からの教育が大変重要です。小学生のみなさんに、命の大切さを理解してもらうとともに、いじめのない楽しい学校生活を送るために、友達とどのように仲良くしたらよいかをみんなで考えます。

■対象 小学生

■問い合わせ

山口地方法務局人権擁護課
(☎922-2295)



●私たち人権擁護委員に気軽にご相談ください

私たち人権擁護委員は、地域住民のみなさんの悩みや心配事について相談にのり、相談者の自主的な解決のお手伝いをします。また、相談内容が人権侵害にあたる場合は、関係者と話し合うなどして解決していきます。身近に相談する人がいない、相談しにくいなど、一人で抱え込んでいませんか。私たち人権擁護委員が無料で相談に応じますので、気軽にご相談ください。(人権擁護委員 三原幸一さん)

●山口市には10人の人権擁護委員がいます。各委員のみなさんは、市報やまぐち11月15日号に掲載していますのでご覧ください。

■問い合わせ 市人権推進室 (☎934-2867)



固定資産税の課税について

Q1 マンション(平成9年建築)の固定資産税が急に高くなりました。どうしてですか。

A1 住宅の固定資産税については、床面積などの要件により、新築軽減の措置があります。3階建て以上の耐火・準耐火構造住宅のマンションなどは、この軽減の適用期間が5年間です。そのため、平成9年建築であれば、平成15年からこの減額措置がなくなることになります。なお、一般住宅につ

いては、この期間は3年間です。
Q2 昨年、住宅を壊して駐車場にしたところ、今年の固定資産税(土地)が高くなっています。どうしてですか。

A2 固定資産税は、住宅が建っている土地には税負担を特に軽減するように、面積に応じて課税の1の範囲で減額する措置が適用されています。ご質問のように、賦課期日(1月1日)現在、住宅がない場合はこの適用がないため、土地の税額が高くなったものです。
◇問い合わせ 市課税課家屋担当 (☎934-2736)・土地担当 (☎934-2737)



老人医療受給者証の取扱いについて

Q 国民健康保険被保険者証は毎年更新がありますが、老人医療受給者証は更新がありますか。また、負担割合は変更になることがありますか。

A 更新はありません。老人医療受給者証の方には、制度改正により昨年10月から所得に応じて1割もしくは2割の負担をお願いしています。医療受給者証の有効期限はありませんが、毎年8

月の定期判定により、負担割合が変更となった方には新しい割合の医療受給者証を送付しています。また、世帯状況及び所得に変更があり、負担割合が変わる場合は、新しい受給者証を送付します。その際、古い受給者証は回収いたしますので、速やかに市保険年金課(市役所1階)または各出張所へ持参してください。

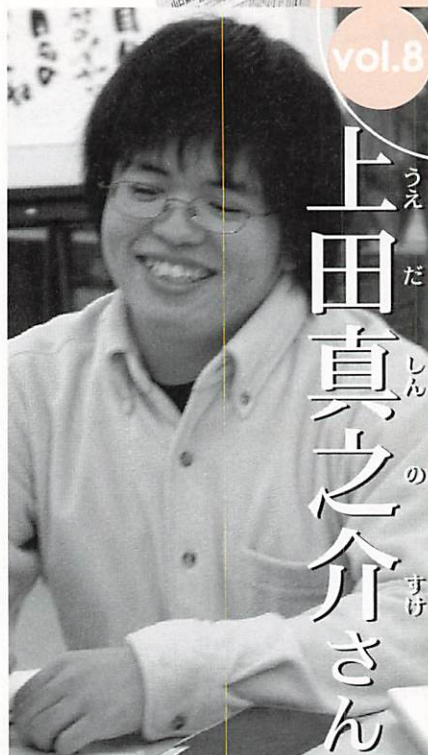
※8月の定期判定により、古い受給者証をまだ返されていない方は必ず市保険年金課へ返してください。

◇問い合わせ 市保険年金課医療助成担当 (☎934-2803)



めざましスタイル
「まちづくり」
「ひと」

「真似ではなく山口らしさが出せる、若い人が中心となって活動するまち」



うえだ しんのの すけ
上田真之介さん
vol.8

進学のため、出身地である北九州から宮野に来た時「ここに住むのは4年間の学生生活だけで充分」と感じたという山口県立大学2年生の上田真之介さん。そんな彼が今、宮野地域と大学を結びコミュニケーションサイト「宮野すとリー」を開設し、11月にはコミュニティ誌「ST」を発行するなど、地域に根ざした情報発信活動を精力的に行っています。

■宮野すとリーとを開設したきっかけは？
春休みで帰郷した友達から「大学はいつから始まるんだっけ？」と何度となく質問され、ならば学生を対象にした情報をもとめて発信できるホームページ（以下、HP）を作ろうと思いました。そして、作業していくうちに宮野で活動する人やイベント、また県立大学の情報などを紹介する

HPができあがったんです。なかでも公共交通機関の時刻表は便利で人気ですよ。■情報誌「ST」とは？
HPはまだまだ誰もが見られるわけではないので、皆さんに広く情報を伝えるために紙媒体で情報を発信して元々、ペーパーメディアを作ることに興味があり、実は島根県立大学で作っていたら、「学生がつくる、

学生のための情報誌」を見たときに、あまりの質の高さに「僕もいつか出そう！」と思っていたのです。■活動を通して、ご自身に変化がありましたか？
色々な人の話を聞くことでその人の人生に触れることができて勉強になるし、「宮野にこんな人がいたのか」「こんなところがあったのか」という発見もあります。宮野に来た当初は、毎日が家と大学の往復で終わっている感じでした。でも、今は「探せばもっといろんな所があるのでは。4年間宮野で過ごすならもっと宮野を知りたい！」と宮野生活を楽しんでいきます。

■今後の目標は？

この活動を続けてくれる後輩を育てていくことです。そして、もっとたくさんの人に「宮野すとリー」と「ST」を知ってもらい、学生だけでなく宮野地域の人も活用してもらって、県立大と宮野地域の距離を縮めていけたらと思います。

「ST」は、県立大学学生課前・市民活動支援センター・宮野駅で配布中です。

12/1 やこねつとWebリニューアル大公開!



やこねつとのホームページが新しく生まれ変わりました。アドレスも短くなって、アクセス簡単。さらに、ごみ出しメールなどやまぐち生活に役立つ新機能が満載です。ぜひアクセスしてね!

- イベントカレンダー ■
やまぐちのイベント情報が、一目で分かるカレンダー。やまぐち生活をぶち楽しみたい人必見!
- まちづくりレポート ■
やこねつとスタッフが活動やイベントを楽しく紹介します。分野や地区からの検索もOK!
- おやゆび調査 ■
いろんなテーマでみんなの意識を大調査! 山口人の本音を聞いちゃろう!! 携帯アクセスOK!
- 知恵袋 ■
やまぐち生活を200%楽しめる小ネタが満載!

- ゴみ出しメール ■
登録したみんなにはなんと、ごみ収集日の前日に「ごみ出しメール」を配信。もう、出し忘れの心配はご無用です!!
- まちづくりりびと ■
毎月、市報にも連載中の「まちづくりりびと」。やまぐちを舞台に活躍しちよる旬な人やまちの達人にインタビューし、ご紹介します。市報に載せきれなかった秘話も大公開!

詳しくはアクセスしてね!

<http://www.ycnet.jp>

お問合せ・情報はお気軽にこちらまで!
090-7120-0847

企画・編集 やこねつと

やこねつとは、やまぐち生活がぶち楽しくなる情報を発信します!

エコパークやまぐち
かわらばん



山口市リサイクルプラザ
☎927-7122 ☎927-7133
http://www.c-able.ne.jp/ymgplaza/
開館時間 午前9時から午後5時
資源物の受け付け
午前9時から午後4時30分
月曜と祝休日の翌日はお休みです

プラスチック製 容器包装

正しく分別しましょう！



プラスチック製容器包装（以下プラ製容器包装）の分別収集が始まり、2年がたちました。地域の方々のご協力などにより、市民の分別意識が次第に高まってきてはいるものの、依然としてルールが守られていない出し方を目にします。そこで今回は、市内で出されたすべてのプラ製容器包装が集まる、市リサイクルプラザのストックヤードを見学し、担当職員の方にお話を聞きました。



年々排出量が増えている プラスチック製容器包装



作業をしていま
す。「プラ製容
器包装を押し固
めたかたまり
は、1個約19
0キログラムも
あるんですよ。
昨年の3月～10

月と今年の同期間を比べると、183個も増えました。それだけ出される量が増えているんです。」

「分別に対する、人それぞれのモラルの差を感じます」

市民の分別意識は、分別開始の頃と比べてどうでしょうか？「意識が高まっていると感じますね。キチッと分別がしてあるものがあると、嬉しくなります。しかし一方で、生ごみなどが入っていて非常に困ったこともありました。人によってモラルの差が大きいな

と感じます。また、対象外のビデオテープは、機械にテープが絡まってしまいうので絶対に入れないで欲しいものの一つですが、結構入っています。排出時には「**②**マーク」がついた商品であるか、「容器包装」であるかを、よく確認してくださいね。」



＝この日混入していた異物＝
(プラスチック製容器包装でないもの)
引き出し/トレイ/ビデオテープ/
植木鉢/パケツ/まな板/水切りか
ご/うちわ/洗濯ばさみ 等
※プラスチックの「製品」と
「容器包装」は違います！

分別で「ごみ」から「資源」へ生まれ変わらせましょう

集められた量の多さに驚くとともに、担当職員の方々の生の声を聞いて、プラ製容器包装を「ごみ」にしてはいけないなど改めて感じました。

プラ製容器包装は缶やビンなど他の資源物とは違って、収集したものをほぼそのままリサイクル工場へと送りまます。それだけに、家庭での初期の分別が非常に重要です。分別についてわからない時は、市が配布している『ごみ分別の手引き』や『ごみ資源収集カレンダー』で確認し、限りある資源を大事に再利用するためにも、正しい分別を心掛けましょう。

(企画 やまぐちエコ倶楽部)

12月のリサイクルアイデア講座(午前10時～正午) (いつでも参加できます。申し込みはいりません)

和服のリフォーム	2(火) 9(火)	牛乳パックでお正月飾り	6(土)
トールペインティング	3(水) 10(水)	パッチワーク(初級)	6(土) 10(水) 20(土)
さき織り	4(木) 11(木) 18(木)	布あそび	6(土) 20(土)
ネクタイを使った小物作り	4(木) 18(木)	余り布で作るコサージュ	11(木)
押し花で作るリース作り	4(木)	しめ縄作り	23(火)
洋服のリフォーム	5(金) 12(金) 19(金)	※トールペインティング、しめ縄作りは午前9時30分～正午	
毛糸で干支三猿作り	5(金) 19(金)	※パッチワーク(初級)の6日(土)、20(土)は	
フラワーアレンジメント	6(土) 20(土)	午後1時～3時	

※持参するものなどの詳細は、市リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

12月のフリーマーケット

◇日時 12月14日(日)
午前9時～午後3時

※雨天時は中止します。
※おもちゃの病院もあります。
(受付は午前10時～11時30分)
※オープン講座「炭灰」作り
(午前10時～正午、材料費300円)を同時開催します。
※1月・2月のフリーマーケットはお休みします。



お知らせ

山口市役所 〒753-8650 亀山町2-1

男女共同参画に関する 市民意識調査について

市では男女共同参画の推進にあたり、12月1日から24日までの間、男女共同参画に関する市民意識調査を実施します。無作為に抽出した18歳以上の市民4000人を対象に実施しますので、ご協力をお願いいたします。

◇問い合わせ 市企画調整課 (☎934-2746)

泉町平川線が通行できるようにになります

平成14年10月1日から全面通行止めになっていた都市計画道路泉町平川線の榎橋(湯田自動車学校前)が、12月19日(金)午前10時から通行できるようになります。

なお、工事は完了していませんので、引き続き、仮設交差点の通行となります。表示板や案内看板などに従い、通行をお願いします。
◇問い合わせ 市都市計画課 (☎934-2832)

盲導犬を必要とする方へ

◇対象 (いずれにも該当する方)
県内に1年以上居住する在宅の重度視覚障害者(障害等級1級) / 平成15年4月1日現在、

18歳以上の方 / 住居内で盲導犬の飼育が可能な方 / 盲導犬との約1カ月間の共同訓練が可能な方 ※所得制限があります。

◇申込期限 12月10日(水)

◇申し込み・問い合わせ 市高齢障害課 (☎934-2794)

親子で遊ぼう

地域交流「スマイルポケット」

◇日時 平成16年1月・3月の毎週金曜日 午前10時30分～正午

◇場所 ふしの会館(三和町3-3)

◇対象 未就学児とその保護者

◇内容 リズム遊び、簡単な工作、親子クッキングなど(見学歓迎)

◇申し込み・問い合わせ 随時、電話または直接ふしの会館 (☎922-7055)

ワークシヨップ参加者募集 「動くおもちゃを作る」

山口情報芸術センターでは、キットを使って、動くおもちゃを作るワークシヨップを開催します。

クリケットとは、センサーやモーターをつなげて自分のプログラムした通りに動かすことができる、小さなコンピュータです。プログラムの知識は必要ありません。気軽に参加して下さい。

◇場所 山口情報芸術センター創

作学習室(中園町7-7)

◇期日 12月14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、1月4日(日)、10日(土)、11日(日)

◇時間 午後1時～5時

◇対象 小学4年生・中学3年生 各回8人(先着順・保護者同伴も可)

◇参加費 500円

◇申し込み・問い合わせ 開催前日の午後5時までに山口情報芸術センター (☎901-2222)

※作品の持ち帰りはできません。

きららスポーツ交流公園 サッカー教室

◇期間 平成16年1月14日(水)～2月11日(水・祝)の毎週

水曜日(全5回)

◇時間 午後7時30分～9時

◇場所 きららスポーツ交流公園(阿知須町)

◇対象 一般(学生を除く)のサッカーに興味のある初心者 30人程度(先着順)

◇参加費 2100円(スポーツ保険料含む)

◇申し込み・問い合わせ 12月5日(金)～14日(日)の間にきららスポーツ交流公園 (☎08

36-65-6903 FAX 0836-65-6902)

山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

午前7時45分(水・土)、午後零時15分(火・金)、午後6時15分(月・木・日)、午後10時(水・土)から20分間放送。

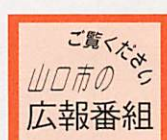
○1日～15日「山口市子ども市議会」

○16日～31日「みんなおいでよ 親子ふれあいジャンボリー」

やまぐちしま専科 (山口朝日放送)

毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。

○3日 「EM菌で生ごみを堆肥に」



- 10日 「年末年始ごみをお早めに」
- 17日 「頼れるね! 産業コーディネーター」
- 24日 「栗林和彦のふるさとのお正月」
- 31日 お休み

わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。

○7日・14日・21日

「ご存じですか? 国民年金の保険料免除制度」

○28日 お休み

12月の
放送予定です

年末年始の交通安全県民運動

◇期間 平成15年12月10日(水)～16年1月3日(土)
 ◇重点目標 早朝、薄暮時の交通事故防止！
 高齢者の交通事故防止！
 シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底！

海外たすけあい義援金 「あなたのやさしさを」

海外の恵まれない人々に援助の手を差し伸べる「NHK海外たすけあい」を12月1日(月)から25日(木)の間実施します。

寄せられた義援金は、世界中で多発する自然災害や紛争等による犠牲者の緊急救援及び発展途上国の赤十字社が行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力に役立てられます。

義援金の受付窓口は、最寄りの郵便局、取扱表示のある金融機関、農協、漁協、NHK(中央五丁目14-22)、日本赤十字社山口県支部・血液センター(野田172-5)、山口赤十字病院(八幡馬場53-1)です。

◇問い合わせ 日本赤十字社山口県支部(☎922-0102)

12月の土曜在宅当番医の変更(吉南医師会)

6日【変更前】三隅外科・胃腸科
 【変更後】相川医院(鑄銭司☎986-2177)

13日【変更前】相川医院

【変更後】三隅外科・胃腸科(小郡町明治北☎083-972-11003)

平成15年度市表彰・秋の叙勲

平成15年度市表彰

平成15年度山口市表彰式が11月21日に行われました。今年度は、19人2団体の功績をたたえ、表彰状・感謝状が贈られました。受賞された方々は次のとおりです。()内は、年齢・住所・功績です。(敬称略)

●自治功労者

河村 義壽(63 後河原 市協力委員15年)

向原 鐵夫(72 鑄銭司 市協力委員10年)

林 努(67 泉都町 市協力委員10年)

小島 清彦(64 湯田温泉一丁目市協力委員10年)

松永 義雄(73 陶 市議会議員24年)

兼村 晴定(75 仁保上郷 市議会議員20年)

弘中 紀生(62 宝町 市議会議員20年)

●保健衛生事業功労者

蔵成 智津子(60 平井 市食生活改善推進員20年)

●産業功労者

山本 進(80 仁保上郷 仁保特

別林野委員16年)

末本 辰雄(81 名田島 名田島特別林野委員22年)

藤井 英夫(81 名田島 名田島特別林野委員32年)

武安 順次(84 名田島 名田島特別林野委員32年)

秋本 茂雄(73 嘉川 嘉川特別林野委員32年)

末岡 長壽(73 江崎 嘉川特別林野委員30年)

●寄付功労者

齊藤 清子(86 野田 多額の金品、菜香亭部材、扇額及び調度品等を寄付)

和田 健(88 折本一丁目 中原中也記念館収蔵及び展示資料として、中原中也合同歌集「末黒野(すぐるの)」を寄贈)

泉二丁目 山口情報芸術センターの託児室一式及び保健指導用自動車(寄付)

榎野川漁業協同組合(平井 自然環境保護のため多額の金品を寄付)

松尾 操子(79 陶 市高齢者生きがいセンター用地として土地を寄付)

秋山 泉(65 朝田 市立大歳小

学校に油彩画「飛翔」を寄付)

萬代 一平(79 東京都調布市指定文化財(史跡)「十朋亭」の土地建物及び十朋亭・萬代家関係資料等を寄付)

市内在住の6人の方が叙勲を

受章されました。

受章された方は次の通りです。

()内は功労概要、年齢、住所、主要経歴です。(敬称略)

●旭日小綬章

大原 博之(自動車整備事業振興功労 74 糸米二丁目 (社)山口県自動車整備振興会会長)

●瑞宝小綬章

岡田 貞義(教育功労 76 大内御堀(元公立高等学校長)

津田 信行(地方自治功労 72 湯田温泉六丁目 元山口県地方労働委員会事務局長)

廣嶋 彬智(地方自治功労 71 吉敷 元山口県出納局長)

●瑞宝双光章

市原 馨(教育功労 79 宮野下元公立小学校長)

●瑞宝単光章

重宗 好信(消防功労 73 上小

靖 元山口市消防団分団長)

平成15年秋の叙勲

市内在住の6人の方が叙勲を

受章されました。

受章された方は次の通りです。

()内は功労概要、年齢、住所、主要経歴です。(敬称略)

●旭日小綬章

大原 博之(自動車整備事業振興功労 74 糸米二丁目 (社)山口県自動車整備振興会会長)

●瑞宝小綬章

岡田 貞義(教育功労 76 大内御堀(元公立高等学校長)

津田 信行(地方自治功労 72 湯田温泉六丁目 元山口県地方労働委員会事務局長)

廣嶋 彬智(地方自治功労 71 吉敷 元山口県出納局長)

●瑞宝双光章

市原 馨(教育功労 79 宮野下元公立小学校長)

●瑞宝単光章

重宗 好信(消防功労 73 上小

靖 元山口市消防団分団長)

カメラさんぽ



山口鷲流狂言定期公演

来年で創立50周年を迎える山口鷲流狂言保存会の定期公演が、県教育会館ホールで行われました。初演3曲を含む全6曲が演じられ、いずれも見事な舞台上で観客のみなさんを沸かせていました。(11月1日)



おいしいネ！ふるさとの食材

ふるさとの食材を給食で味わってもらおうと、市内の全小中学校で「ふるさと給食の日」がスタートしました。興進小学校では、はなっこリーの和え物、小鯖産米、県内産小麦を使ったパンが登場し、みなさんおいしそうに食べていました。(11月18日)



夢を語り合い、未来へつなごう

すでに起業している人や、これから起業を目指すみなさんが集まって、互いの情報交換や人脈づくりを今後に生かそうと、「第2回やまぐち夢創りオフィス交流会」が行われました。交流会では、今年度から市が設置した産業コーディネーターの活動事例の紹介や、現役社長の体験・アドバイスなどが行われ、参加したみなさんにとって刺激となる、実りのある場となりました。(11月14日)

※写真右は産業コーディネーターの中村さん



子ども、おとな、それぞれの思いを発表

学校週5日制導入から1年半がたち、家庭や学校、地域でのこれまでの取り組みを互いに発表し、今後の活動に生かそうと「第1回山口市教育のつどい大会」が行われました。大殿小5年生のみなさんは、アートふる山口での和菓子作りやお抹茶コーナーでの活動体験について発表しました。(11月15日)

①オープニングセレモニー

②展示作品を楽しむ子どもたち

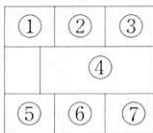
③大人気！図書館絵本コーナー

④開館記念事業「アモータル・サスペンションー飛びかう光のメッセージ」

⑤図書館イベント「おはなしひろば」(スタジオC)

⑥展示作品「シャボン玉」(スタジオB)

⑦展示作品「中居伊織streetscape」(クリエイティブスペース)



市立図書館は、開館を待ち望んでいた多くの人で溢れ、お母さんと一緒に絵本を選ぶ子どもたちや、両手いっぱいの本のかかえる人など、本の貸出に行列ができるほどの人気でした。



表紙写真説明

山口情報芸術センター「ビッグウエーブやまぐち」開館

11月1日、山口情報芸術センター「ビッグウエーブやまぐち」が開館しました。当日は3連休の初日で、10時の開館とともに家族連れなど多くの人でにぎわいました。みなさん、展示作品を見たり、触れてみたり、思い思いに楽しんでいました。